

真行草

平成 27 年度
11 月発行

第 8 号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OB・OG 係 hamai_kyudo_ob@yahoo.co.jp

毎年 1 回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

西医体優勝奪還!!!



平成 27 年 8 月 16 日 西医体

師範代のうめき

前弓道部顧問・現弓道部師範代 佐藤清昭先生

浜松医科大学の（ドイツ語をはじめとする）第二外国語ですが、これは 2016 年度からなくなります。新しいカリキュラムが検討された結果、第二外国語、そして一般教育科目のいくつかが消えることになりました。

この（国の政策にしたがった）新しいカリキュラムは、医学教育の質の向上（グローバル化に対応）を目指したものであると同時に、これにより浜松医大の卒業生も「アメリカの医師国家試験」を受けることができるようになる、ということです。具体的には、臨床実習の時間が大きくひろがります。したがってその分、基礎医学、そして一般教育にあてられる時間数が少なくなるのでしよう。

しかしアメリカの「医学部」（つまり「メディカルスクール」）は、日本の医学部とは制度と内容において大きく異なります（そこで学ぶには、前もって4年制の大学を修了していなければなりません）。もしアメリカの国家試験のことまで考えるのなら、日本の医学部もメディカルスクールに変えるくらいの「根本的な改革」を検討すべきでしょうが、そのような声は聞こえてきません。

大学における「一般教養教育」は、軽視される傾向が続いてきました。しかし日本人の「知的レベル」の高さは、大学において「ただ自分の専門を勉強する」だけでなく、「幅広い領域」の学者の講義に接することにより保たれてきた、と私は思います。さて日本の大学は、そして日本の教育は、これからどこへ向かって進んで行こうとしているのでしょうか？ 浜松医科大学が「浜松医療専門学校」となってしまうことを願います。



夏のうなぎ杯の様子

弓道部部長挨拶

弓道部顧問 三澤清先生（平成6年度卒）

佐藤清昭前部長から部長を引き継いで2年目となりました。4月に新歓コンパ、6月に錬成館にて中部ブロックの主管のお手伝いをしたのが今年の主な活動でした。3月には追い出しコンパに参加する予定です。なかなか、大学に勤務していても学生との時間を十分にとることができないのが悩みですが、2年目になると少しずつ学生の名前も憶えることができ、楽しく部長をさせていただいています。

2年目の今年も事故のない1年であって欲しかったのですが、道場外整備係の男子が道場敷地斜面でヘビ咬傷にあう大変心配した事件が occurred。現在の場所で、平成5年から活動を行っていますがはじめての事例でした。浜松の気候がだんだん変わってきている影響も考えられます。大学側には迅速に対応してもらいました。しかし、我々も安全面の対策を行う必要性を強く感じました。

今年の弓道部の活動は、中部ブロックアベック優勝、東国体女子 2 位、西医体アベック優勝、全医体 3 位など立派な成績が続きました。毎年の好成績は立派と感心します。9 月の全医体では、4 連覇はなりませんでした。長い夏のシーズンをよく頑張ったと思います。来年は全医体の主管を浜松で予定しています。3 年連続の大会主管になります。8 月下旬のまだ暑い時期ですが OB・OG の皆様には、ぜひ浜松に見学応援に来ていただきたいと思います。大変スムーズな試合運営は一見の価値があると思います。

今年 1 年間、藤田前主将、杉浦新主将といろいろな意見交換をすることができました。中部ブロックでは 2 日間参加し、吉田先生、佐藤先生といろいろお話しできました。私自身は毎年少しずつ仕事量が増えていますが、できるだけ時間をとって弓道部とかかわってきたいと思っています。今年も弓道部の全国での活躍を祈っています。

私が思う浜松医科大学弓道部の目指すところ

OB・OG 会長 片桐伯真先生(平成 4 年度卒)

今回は私が OB・OG 会長としての最後の寄稿となるため、せっかくなので自らの勝手な思いを少し書かせていただきたいと思います。そのためこの内容は決してこれからの弓道部を制限したり、内容を強く推奨するというものではないことをご了承下さい。

弓道部が発足した当初、その当時の運動部としては決して正統派とはなり得ない、というよりもならないように考えたことがありました。文化系でも百人一首などのようにある意味格闘技的なものがあるように、運動部にも単に勝ち負けだけにこだわるのではなく、その道を大切にするという点で運動部とか文化部といった形に囚われることなく、弓道部として生き残ることも大切だと思っていました。それ以外にも、運動部として根性論で頑張るよりは、もう少し軽い気持ち

で楽しみたいと言う思いもあったかも知れませんが……。そのため発足当時は参加することに意義があるといった程度の活動と成績でしたが、このご時世では部としての存続には、成績を無視することができないのも事実としてあったと思います。その中で考えなければならないことは、弓道が射的のごとく単に当てに行く射となれば、武道としての違和感が生ずるため、できれば射の美学を追究しつつ結果がついてくるようなものを理想と考えるてきました。その流れは今の弓道部に引き継がれ、成果を挙げているのではないかと考えています。

話は変わりますが、今の義務教育場面でも心技体を重んじる武道の大切さを考え、体育の授業での柔道などの必須化が進んできています。ただ残念ながら体育会系として考えた根性論とか過去の伝統にぶら下がっている中、本来の武道教育の意味が失われ、形骸化した中で様々な問題が生じているのも事実としてあります。日本の柔道においても一部では根拠もなく野蛮な教育が様々な不幸に繋がっていることは聞いた事がある人もいるかもしれません。現に教育現場での柔道での死亡事故や怪我による後遺症の事例は多く認めますし、私も実際その後遺症で悩む若者の支援に携わっています。ただ無視できないことは、他の国々での武道教育での死亡事故報告が見られない点を考えると、問題視しなければならない課題だということです。セカンドインパクト症候群と言われる病態は最初の脳震盪に引き続き生じる重度頭部外傷発生を示したのですが、これは指導者の知識がなく、スポーツ中止／復帰時期の不適切な指導から生じることが言われています。これだけ科学的な検証がされてきている現在、スポーツも根性論だけでは指導できない時代になっていることを意識しなければなりません。

医療人としてこれからの人生の大半を捧げる私達が弓道から学ぶこととして、基礎を大切にすること、その基礎の裏付けとしての根拠を大切にすること、そしてそれが根性とか力業だけでなく、しっかりとした精神力・体力に基づいた最良のパフォーマンスを出せる環境作りなどが大切にすることなどが挙げられま

す。是非普段の生活での不摂生やストレス管理など配慮した中でのそれぞれの美学を追究してみてください。

最後になります、個人的な思いとしてもう一つ。弓道部発足時には「煙草の煙のない飲み会」を心がけてきました。この伝統も医療人として根拠のある内容ですので、是非皆さんにも大切な伝統として意識して頂けると幸いです。

この文章を読まれた皆様がこれからも末永く弓道そして浜松医大弓道部を大切に、ともに育っていくよう、多方面でのお力添えをしていただけることをお願いして、文章を締め括らせていただきます。

前主将挨拶

第 27 代主将 藤田王樹(医学科 4 年)

季秋のみぎり、OB・OG の皆様におかれましては、ますますご壮健のことと拝察いたします。浜松医科大学弓道部に、日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年の 10 月から 1 年間主将を務めさせていただいた医学科 4 年生の藤田王樹です。多くの部員の支えはもちろんのこと、OB・OG の皆様のお力添えをなくして、1 年間主将を務め終えることは到底出来なかったことと存じます。特に、私達が主管を務めた中部ブロック医科学生弓道大会をはじめとした各大会に際し、わざわざ足を運んでくださった方やご援助を頂いた方が OB・OG の皆様の中に多くいらっしゃいました。大変感謝しております。

1 年程前、主将として任命された当初を思い返しますと、私個人の思いとして存在していたのは、弓道部が大きく変わってしまうのではないかと一抹の不安でした。新しい幹部学年になったことで体制が変わったことや、部員が増加傾向にある中で引退生の比率が上昇したこと、そして長らく続いた東海医歯薬での連覇を途絶えさせてしまったことなど、これらが弓道部に悪い影響を与えるのではないかとという焦りを

感じ得ませんでした。

しかしその焦りに逆行し、この 1 年間で弓道部は徐々に結束を強めていったように感じました。その背景には、部員同士の繋がりや関わり合いが織り成す、弓道部特有の良い雰囲気が変わらず存在していたことが挙げられると思っております。結局のところ、部員と部員の関わりが良好に保たれていたことが、部活動として拠り所になりました。部活動で最も重要なことは部員同士の繋がりであるということ、1 年間主将として弓道部に関わっていく中で学びました。そしてこの弓道部においては、OB・OG の皆様が作り上げてくださった部員同士の良好な関わり合いというのが、表面上の勝ち負けや部員の人数の増減などでは揺るがない、確かな伝統として根付いていることを実感いたしました。

各部員が部活動を楽しむ良い雰囲気を基盤として、その基盤の上で弓道の修練を積み重ねていくことが確固たる部員同士の結束を生み、また弓道面でもより強い部活となっていくのではないかと思います。それは理想であり、実現していくことは非常に困難ですが、一歩ずつ理想に向かって努力してきたこの 1 年間で、今後の弓道部にとって良い影響を及ぼしていくことを信じています。



中部ブロック医科学生弓道大会の様子

前看護科主務挨拶

鈴木亜佑実(看護学科 3 年)

爽秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。昨年度 10 月より看護科主務を務めさせていただきました、鈴木亜佑実と申します。

今年は例年と異なり、西医体と西看大の日程が重なったため、医学科と看護学科が合同で立ちをとりました。大人数で行う広い道場での立ちであり、よい緊張感の中で西看大に臨むことができました。西看大では、個人戦で決勝進出するなど、あと一步という部員もいました。しかしながら、団体戦・個人戦ともに結果を残すことができませんでした。私個人としても、今年こそはと意気込んで 1 年間練習してきたため、とても悔いの残る試合となりました。後輩たちも同じ思いであり、みんなで来年に向けてがんばろうと気持ちを新たに団結することができました。

さて、次期看護科主務は村上諒が務めます。彼は、看護学科のなかで唯一の男子部員ではありますが、男女問わず人望が厚く、看護学科を引っ張っていきこうと弓道の練習にも熱心に取り組んでいます。次期看護学科幹部学年は 3 人と少数ながら、仲が良く団結力もあるため、看護学科を益々成長させてくれることと思えますので、今後とも引き続き御指導、御鞭撻の程よろしくお願いたします。

末筆ではありますが、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、前看護科主務挨拶とさせていただきます。1 年間有難うございました。

新主将挨拶

第 28 代主将 杉浦琢也(医学科 3 年)

仲秋の候 OB・OG の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。10 月より浜松医科大学弓道部の第 28 代主将を務めることになりました、医学科 3 年の杉浦琢也です。皆様が築き上げてこられた伝統ある部の主将を任されたことを誇りに感じ、また大きな責任に身が引き締まる思いです。近年、弓道部は非常に大きな部活となっておりますが、今年も大変喜ばしいことに 15 名もの新入部員が入り、ますます賑やかになりました。このような大人数で弓道ができるのは、ひとえに OB・OG の皆様のご援助のおかげです。この場を借りて、ご協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

さて、主将としての私が大切にしていきたいのはこの歴史ある部活を「強い」部活で在り続けさせることです。「強さ」というのは、必ずしも的中であつたり、戦績であつたりといったものではないと思います。強い部活というのは、部員一人一人が自分たちの部活を誇りに思えるような部活ではないかと考えています。部活を通じて、自分の仕事に対して責任を持ち、誇りをもって仕事をこなしていくことは一人一人の、また部活全体の品格を高めてくれます。「射は仁の道なり」といいます。相手に対して尊敬と思いやりを持つことを第一とし、精進していくことで結果はついてくると信じています。

不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願致します。末筆になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、略儀ながら新主将のご挨拶と致します。



冬のうなぎ杯の様子

新看護科主務挨拶

村上諒(看護学科2年)

清秋の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別にご支援を賜り、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

10月より看護科主務を務めさせていただくことになりました、村上諒と申します。男子部員が看護科主務になったことで、看護学科の部員が過ごしやすいよう、より一層看護学科の意見に耳を傾け、先輩方が築いてくださった伝統を守り、精一杯努力したいと思っております。

今年度の西看大では残念ながら団体戦、個人戦ともに良い結果を残すことができませんでした。しかし、昨年度、今年度と西看大を経験して、看護学科全体として手応えを感じたように思えます。そして、来年度こそは入賞を目指します。看護学科も医学科の勢いに負けぬよう、共に切磋琢磨しながら「勝つ」という目標に向かって進んで行こうと思っております。

看護科主務をするにあたって、何かと至らぬ点多くご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、看護科主務挨拶とさせていただきます。

OB・OGの方々からご寄稿を頂きました！

磐田市立総合病院

江上貴俊先生(平成25年度卒)

晩秋の候、OB・OGの皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成25年度卒の江上貴俊と申します。現在は、磐田市立総合病院で研修医として働いております。

大学を卒業してからはあまり道場には顔を出せずにいますが、OB・OGメーリングリストでの部活動の報告や、病院実習に来てくれる後輩達から近況を聞くのを毎回楽しみにしております。今年度も西医体アベック優勝を始め、様々な試合で後輩が活躍しているのを聞くと自分のことのように嬉しく思います。また、かけがえのない仲間と一緒に部活に励んでいた学生時代のことをとても懐かしく感じます。

私が弓道部に在籍していた頃のことを思い出すと、楽しいことはもちろん、たくさんの失敗も経験しました。そんな時、丁寧に指導してくださった先輩、支えてくれた同級生、気軽に話しかけてくれた後輩たちがいたからこそ、弓道部を6年間続けて来ることができたと思います。卒業してからも部活を通じてのつながりは非常に強く、かけがえのないものであることを実感しています。

これからもこのつながりを大切にしていきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、今後ともよろしくお願い致します。

名古屋大学医学部附属病院

岡崎綾女先輩(平成 26 年度卒)

清秋の候、浜松医科大学弓道部 OB・OG の皆様、
在学中の皆様におかれましては益々ご健勝のことと
お慶び申し上げます。平成 26 年度看護学科卒業生の
岡崎綾女です。

私は現在、名古屋大学医学部附属病院の脳神経外
科・乳腺内分泌外科病棟で看護師 1 年目として働いて
います。名大病院には卒後ローテーション制度がある
ため、4 月～6 月は眼科病棟で働き、7 月から現在の病
棟に配属されました。3 か月経ちましたがまだまだ慣
れないことも多く、毎日自分の未熟さを感じながらも
必死に働いています。ただ医療スタッフの仲が良く、
時には厳しくご指導頂くこともありますが、日々楽し
く過ごさせてもらっています。忙しい病棟ですが、患
者さんとのコミュニケーションの時間を大切にしま
ながら看護師として働けたらと思っています。

今年度も弓道部は数多くの大会で素晴らしい成績
を残されており、報告メールが来るたび一人喜んでい
ました。中部ブロック、西看大は応援にも行かせてい
ただき、近くで皆さんの射を見ることができてとても
嬉しく感じました。一人一人の真剣な姿に私にまで胸
が熱くなるものがあり、パワーを頂きました。また、
大会や飲み会で部員の皆さんからいろいろ話しかけ
てくださったのも本当に嬉しく思います。卒業してか
ら居場所があるなんてとても素敵な部活だなと改
めて思いました。

今年度も多くの新入生が入部されてますます大所
帯となった弓道部ですが、いつまでもこの暖かい雰
囲気が続くことを願っています。また機会があればお邪
魔させてください。今後も弓道部のご活躍を期待して
います。



卒業式の様子(上 2 枚)

静岡県立総合病院

篠原慶先生(平成 26 年度卒)

浜松医科大学弓道部 OB・OG の皆様並びに在学生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成 26 年度卒業生の篠原 慶と申します。

静岡県立総合病院にて研修医として働き始めてから早くも半年が過ぎました。勉強の日々で至らないことがほとんどですが、楽しく仕事を行っている毎日です。

さて今年も弓道部は西医体アベック優勝を遂げるなど輝かしい成績を収め続けており、今や常勝軍団になったといっても過言ではないと思っております。今年 OB として初めて全医体の試合を見に行かせていただきました。後輩たちが試合に臨む姿を見て、部活の団結力をあらためて感じる事ができ、とてもうれしく思うとともに、日々仕事を頑張ろうと活力を頂きました。

静岡県立総合病院には浜松医大弓道部の OB・OG の方が多く在籍されており、仕事の面でもプライベートでも大変お世話になっております。身近な先輩方が同じ職場にいらっしゃることはとても心強いことであり、卒業しても部活のつながりを感じられることはとても素晴らしいことだと感じました。今後弓道部の皆様と一緒に働くことができれば、大変うれしいことであり、私自身も何かの形で弓道部に関わっていらと考えております。

弓道部のさらなる発展を祈願して、私の挨拶とさせていただきます。OB・OG の皆様には今後とも御指導・御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

今年度も OB・OG の方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひ、ご寄稿のご協力をお願い申し上げます。

PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるように致しました。

是非ご覧ください。

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>から [アイテム] → [会報誌] にてご覧になれます。

近況報告(一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。)

今年、私は初めて「先輩」と呼ばれる立場になり、また、主務という重要な役目を務めることになりました。弓道面においても生活面においてもまだまだ若輩者の私ですが、OB・OGの皆様方による多大なるご支援を無駄にしないためにも、日々努力を惜しまず弓道部に貢献していこうと思います。

兵藤杜希哉(医学科 2年)



10月 秋のイソップ・竹山杯

OB・OGの皆様、平素より御支援賜りまして誠にありがとうございます。現在は1年生の医大祭練習の時期であり、今年もどのような演劇が見られるのか楽しみにしております。6月の中部ブロック医科学生弓道大会において、主管を成功させ、男女とも優勝という成績を残すことができたのは、部としての日頃の練習の成果だと思えます。弓道部の部員として過ごす日々も残り僅かになりましたが、学業、弓道ともに精一杯励んで参ります。

佐々木うらら(医学科 6年)



11月 医大祭(上3枚)

幹部学年として過ごしたこの1年、ありがたいことに団体戦で弓を引かせていただく機会が多くありました。練習通りにいかず悔しい思いをした試合もありましたが、結果に関わらず暖かく応援して下さったOB・OGの方々には本当に感謝しています。1年間、ご支援ありがとうございました。

森田裕子(医学科 4年)



11月 しゃちほこ杯



11月 東海医歯薬(上2枚)

弓道部に入部して2年半になりました。年々後輩の人数も増えていき、自分が1年生のころから先輩方に教わったことを、しっかりと伝えていかなければならないことをより強く感じる1年でした。OB・OGの方々ののおかげで今自分が道場で気持ち良く弓を引くことができると自覚し、弓道部を次世代に引き継げるように努力していきます。

森下昌史(医学科3年)

時が経つのは早いもので、私が浜松医科大学弓道部に入部してから6年が過ぎました。初心者で弓道と縁のなかった私がこの部活を選んだ理由は、楽しい部活とそれを支える後輩思いの先輩方がいらっしやっただけです。この6年で部員数も増えてきましたが、OB・OGの先輩方から受け取ったものを後輩たちに伝えていけたらと感じています。

伊藤将一郎(医学科6年)

12月 冬のうなぎ杯

(右2枚)→



入部してからの半年間は本当に密度の濃い時間でした。道場に行くといつでも、先輩方から真剣にご指導していただき、恵まれた環境の中で弓をひくことができたからだと思います。こうした充実した練習ができるのも、OB・OGの皆様のおかげです。恵まれた環境に感謝し、これからも精進していきたいと思います。

神戸美有希(医学科1年)



←12月 グラスカップ

弓道部に所属し3年が経ち、引退生となりました。現役生も引退生も一緒になり、今の楽しい弓道部をつくっているということを改めて感じます。現役生として過ごした3年間は、先輩や後輩とともに過ごした時間が多く私にとって弓道部は大切な場所です。これからも部員とともに部活動を楽しみ、弓道に励みたいと思います。

秋場千布(看護学科3年)

弓道部を引退してからあっという間に1年が過ぎました。この1年は実習などで現役生と同じような時間をとれなかった分、少ない時間で密度の濃い練習になるよう意識していました。これまでとは違う弓道への関わり方ですが、自分のメンタル面に向き合ったり後輩の成長を感じたりと充実した時間を過ごしています。

和田泉(看護学科 4年)



1月 三十三間堂



3月 春季県下

OB・OGの皆様、日頃より多大なご支援を頂き、誠にありがとうございます。引退して早1年、現役生とは異なる立場となりましたが、一部員、一射手として変わらず弓道を楽しんでいます。皆様が作り上げてきた「現役生も引退生も分け隔てなく楽しめる部活」、これが今後も続いていくよう暖かく見守っていただくと幸いです。

野島悠有(医学科 5年)



←左から、
3月 メモリーカップ
3月 追い出しコンパ

左から→
3月 合宿
3月 卒業式



私が弓道部に入部してから早半年がたちました。私は高校時代も弓道部に所属しておりましたが、現在では時間に制限されず自分の気が済むまで稽古に打ち込むことができます。このような恵まれた環境で修練に励むことができるのは、OB・OGの方々のご支援や、いつも道場に居てくださる先輩方のおかげです。この環境に感謝しながら、これからも日々修練を積んでいきたいと思います。

江澤康平(医学科1年)

4月 理工科戦



5月 新歓遠足



6月 中部ブロック



6月 夏のうなぎ杯

手本となる多くの先輩方に恵まれ、部員同士の仲が良い和やかな雰囲気の中、弓道部は私にとって居心地の良い場所となっています。私たちがこのような環境で日々の活動ができているのは、今まで弓道部を作り上げてきたOB・OGの皆様のお力添えあつてのことだと思っています。私も今後部の一員として精一杯活動していきたいです。

鈴木あかね(看護学科1年)

3月には、医学科10人、看護学科3人の先輩方がご卒業されました。

今年度は、医学科11人、看護学科4人の計15人の多くの新入生を迎えました。

また、今年度の中部ブロックでは大会の主管を務め、団体戦では男女アベック優勝を達成しました！



6月 山梨大戦

OB・OGの皆様、日頃より多大な御支援を賜り、誠にありがとうございます。引退してから早一年が経ち、今では後輩たちに会えるのが楽しみで道場に顔を出すようになりました。大会で活躍する後輩たちや、忙しくても弓道続けている同学年の部員をととても誇らしく思います。そんな仲間に刺激を受け、私自身も弓道が続けたいと思います。

齋藤有沙(医学科5年)



7月 東国体(上2枚)

今年度は幹部学年として1年間活動してきました。個人としての大会結果はふるわず、大きなけがもあり弓を引けなくなるなど悔しい1年ではありましたが、現在は復帰し弓を引く喜びを噛みしめています。これからは引退生となりますが、自己鍛錬を重ねつつ、後輩の成長を見守っていききたいと思います。

藤田英彦(医学科4年)



7月 BBQ



7月 夏季県下



8月 西医体(上2枚)

今年度の西医体は大阪で行われ、団体は男女とも優勝することができました！

また、個人戦でも男女ともに入賞することができました！

幹部交代も終え、私も幹部学年となりました。部員一同、和気藹々と弓を引いており、とても楽しく活気ある部活となっています。これからも居心地の良い部活を継続していけたらと思います。また、OB・OGの方々の部内試合へのご参加をお待ちしております。皆様と弓を引くことの出来る機会を楽しみにしています。

井手麻由香(看護学科2年)

8月 西看大



9月 全医体



今年度の全医体は長野県で行われました。団体戦では名古屋大学と同中競射を行い、第3位に入賞できました！

また、個人戦でも2人の部員が入賞しました！

10月 幹部交代コンパ

試合結果(2014.10~2015.9)

東海医歯薬学生弓道大会(2014.11.22~23)

【団体戦】

男子団体 準優勝

女子団体 A 準優勝

【男子個人戦】

中井省吾(医学科 5 年) **優勝**

村井雄紀(医学科 4 年) 準優勝

山田裕(医学科 5 年) 第 3 位

【女子個人戦】

望月琴美(医学科 4 年) 第 3 位

【男子優秀射技賞】

中井省吾(医学科 5 年)

静岡県下学生弓道選手権春季大会(2015.3.12)

【団体戦】

男子団体 G 第 3 位

【男子個人戦】

藤田王樹(医学科 3 年) 準優勝

【女子個人戦】

久保田紗英(医学科 3 年) 準優勝

岩瀬千郷(医学科 2 年) 第 5 位

中部ブロック医科学生弓道大会(2015.6.6~7)

【団体戦】

男子団体 **優勝**

女子団体 A **優勝**

女子団体 B 第 3 位

【男子個人戦】

藤田王樹(医学科 4 年) 第 5 位

藤田英彦(医学科 4 年) 第 6 位

【女子個人戦】

望月琴美(医学科 5 年) 準優勝



東海医歯薬学生弓道大会の様子



中部ブロック医科学生弓道大会の様子

東海地区国立大学体育大会(2015.7.11~12)

【団体戦】

男子団体 第3位
女子団体 準優勝

【女子個人戦】

望月琴美(医学科5年) 準優勝
久保田紗英(医学科4年) 第3位

静岡県下学生弓道選手権夏季大会(2015.7.19)

【団体戦】

男子団体A 準優勝
女子団体A 準優勝
女子団体B 第3位

【男子個人戦】

菊池優志(医学科5年) 第3位
村井雄紀(医学科5年) 第4位

【女子個人戦】

久保田紗英(医学科4年) 準優勝
木根佑奈(医学科4年) 第5位



静岡県下学生弓道選手権夏季大会の様子

西日本医科学生総合体育大会(2015.8.13~16)

【団体戦】

男子団体 優勝
女子団体 優勝

【男子個人戦】

大竹正紘(医学科5年) 準優勝

【女子個人戦】

東夏美(医学科6年) 第4位

【男子優秀射技賞】

大竹正紘(医学科5年)



西日本医科学生総合体育大会の様子(上2枚)

西日本看護学生弓道選手権大会(2015.8.14~16)

【団体戦】

団体 A(60 射 25 中)

団体 B(60 射 14 中)

団体 C(60 射 12 中)



全日本医科学生体育大会王座決定戦 (2015.9.21~22)

【団体戦】

団体(120 射 71 中) 第 3 位

【個人戦】

藤田王樹(医学科 4 年) 第 9 位

石川駿(医学科 5 年) 第 10 位



西日本看護学生弓道選手権大会の様子(上 2 枚)



全日本医科学生体育大会王座決定戦の様子(上 2 枚)

昇段審査結果(2014.11~2015.10)

11月 東海連合審査(愛知県・日本ガイシプラザ)

- 四段 野島悠有(医学科 4年)
- 五段 佐藤大輝(医学科 3年)

2月 静岡県弓道連盟定期審査(静岡市・武道館)

- 参段 久保田紗英(医学科 3年)

3月 西部地区審査(浜松市・佐久間)

- 弐段 上利裕子(医学科 1年)
- 伊藤望(医学科 1年)
- 川口琴子(医学科 1年)
- 参段 木根佑奈(医学科 3年)
- 四段 森田裕子(医学科 3年)

5月 中部地区審査(静岡市・北部体育館)

- 弐段 兵藤杜希哉(医学科 2年)
- 村上諒(看護学科 2年)

10月 西部地区審査(浜松市弓道場)

- 初段 市川めぐみ(看護学科 1年)
- 大畑美月(看護学科 1年)
- 河合佑樹(医学科 1年)
- 川崎七海(医学科 1年)
- 神戸美有希(医学科 1年)
- 未谷翠星(医学科 1年)
- 栗田直紀(医学科 1年)
- 杉本礼那(看護学科 1年)
- 鈴木あかね(看護学科 1年)
- 鈴木蓮(医学科 1年)
- 多々納拓弥(医学科 1年)
- 山本麻里奈(医学科 1年)
- 渡邊萌(医学科 1年)

- 参段 上利裕子(医学科 2年)
- 村上諒(看護学科 2年)

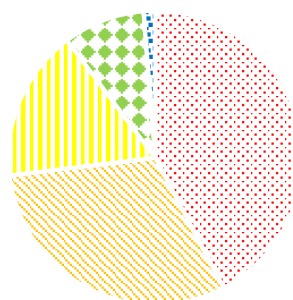


西部地区審査の様子

学年はすべて当時のものを記載しております。
2015年10月の西部地区審査で、
現在の1年生が全員初段以上を取得しました！

試合だけでなく段位の取得にも取り組み、射技の向上にも努めています。

有段者の内訳

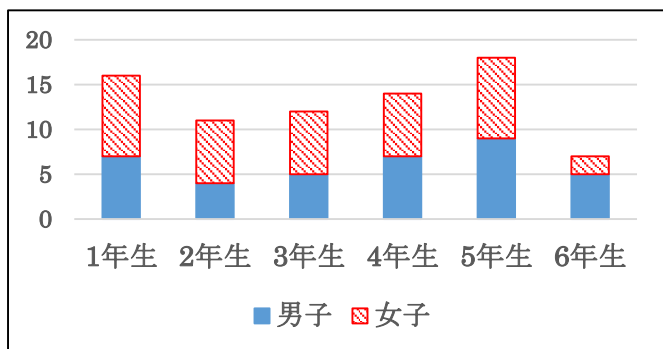


● 初段 ● 弐段 ● 参段 ● 四段 ● 五段

最近の弓道部事情

部員構成

学年	学科	小計	合計
6年生	医学科	7(2)	7(2)
	看護学科	-	
5年生	医学科	18(9)	18(9)
	看護学科	-	
4年生	医学科	13(6)	14(7)
	看護学科	1(1)	
3年生	医学科	7(2)	12(7)
	看護学科	5(5)	
2年生	医学科	7(4)	11(7)
	看護学科	4(3)	
1年生	医学科	12(5)	16(9)
	看護学科	4(4)	
0内は女子部員の人数			78(41)



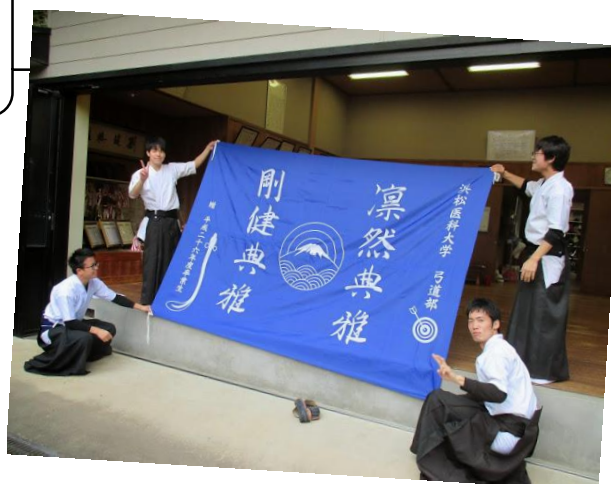
主管について

2016年度の全日本医科学生体育大会王座決定戦では浜松医科大学が主管を務めます。西日本看護学生弓道選手権大会・中部ブロック医科学生弓道大会での主管の経験を活かし、部員一同、より良い試合運営を目指します。

部旗について

昨年度卒業生の先輩方からの贈呈品として部旗を頂きました。

試合では浜松医科大学弓道部の象徴として使わせていただいています。



年間行事予定(2015.11~2016.10)

11月	東海医歯薬学生弓道大会(22.23日)
12月	冬のうなぎ杯・忘年会(12日)
2月	第3回OB・OG総会(27日)
3月	静岡県下学生弓道選手権春季大会 メモリーカップ・追い出しコンパ(12日) 卒業式・学位授与式(14日)
5月	新歓遠足・新歓コンパ
6月	夏のうなぎ杯
7月	中部ブロック医科学生弓道大会 東海地区国立大学体育大会 静岡県下学生弓道選手権夏季大会
8月	西日本医科学生総合体育大会 西日本看護学生弓道選手権大会 全日本医科学生体育大会王座決定戦
10月	幹部交代コンパ

※予定は2015年10月末現在のものです。

変更になる場合がございますので、ご了承ください。

第3回 OB・OG 総会のお知らせ

第2回 OB・OG 総会では、多くの OB・OG の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。第3回 OB・OG 総会は、以下の日時・場所で開催しますので、ご調整の程よろしくお願ひ申し上げます。OB・OG の皆様の多くのご出席をお待ちしております。

日時：2016年2月27日(土) 18:30 開始予定

場所：ホテルクラウンパレス浜松

(浜松市中区板屋町 110-17)

会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OB・OG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告や西看大の支援金について記載した報告書も同封いたしました。多くのご援助、深く感謝いたします。

OB・OG メーリングリスト

OB・OG 係では、試合結果やコンパのご案内などをメーリングリストにて配信しております。メーリングリストの登録をされていない方は、川島大喜までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

川島大喜：innocent-world.05@softbank.ne.jp

● 編集後記

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

昨年度も数々の大会で団体戦、個人戦ともに好成績を収めることができました。

個々の部員の努力の賜物には違いありませんが、OB・OG の皆様からのご支援による面もまた大きいと考えます。

私たち部員が不変なく練習に取り組むことができているのは、ひとえに皆様のおかげです。衷心より感謝申し上げます。

二月の総会で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。本年度も引き続きご支援ご厚情を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

OB・OG 係

川島大喜 西恵佳 馬場皓大 伊藤望